

公民館だより なかがわ

第478号

令和4年9月1日

発行 中川地区公民館

TEL.Fax : 679-2501

わんぱく広場

サンドブラスト工房 遙空～SORA～ ガラス彫刻教室

7月29日(金)中川地区農業者等トレーニングセンターにて、昨年に引き続き「サンドブラスト工房 遙空～SORA～」さんに出張して頂き、子ども15名、大人7名、計22名の参加で「ガラス彫刻教室」を開催しました。ガラスに絵柄、型抜き、自作の文字等のシールを添付し、カッター(ペンナイフ)やハサミでカットしながら、皆さん完成に向けて熱心に取り組んでいました。その後、講師の方に微細な砂を吹き付けてもらう→水で砂を落とす→シールを剥がす→スポンジで洗って完成となります!!時間をかけて取り組んだ作品を見て“わぁ～きれ～い♪”楽しかったあ～♪”の声をたくさん頂き、夏休みの思い出の1ページになったらいいなあと思いました。お忙しい中、同伴して下さった保護者の皆様、並びに、残ってお手伝いいただいた皆様、子ども会育成会会長・副会長さん、最後までありがとうございました。



個性あふれる作品がたくさんできました!!



中川地区 夏の安全パレード

7月31日(日)「中川地区 夏の安全パレード」が2年ぶりに行われました。パレードには中川地区防犯委員、消防団第8分団、上山市の安全協会の方、市議会議員、地区会長会正副会長、1日警察官として中川小学校の6年生児童4名に参加していただきました。児童の参加は3年ぶりになります。出発式後、駅前交番中川地区担当の菅野巡査部長運転のパトカーを先導に、上山市交通安全指導車や消防車等10台、総勢34名が中川地区全域を周り、安全で安心な中川を願い防犯・交通安全を呼びかけました。1日警察官の鏡心道さん、齋藤学志さん、齋藤寛己さん、吉田梨乃さんは出発式で、上山駅前の菅井交番長より委嘱状と帽子・襷をかけてもらい「自分たちの地域は自分たちで守る」意識を持ち立派に任務を遂行してくれました。お忙しいところ、また暑い中、ご協力頂きました関係者の皆様、大変ありがとうございました。



第4回中川粋いき倶楽部&中川地区一般参加者

グラウンドゴルフ大会！



8月9日(火)、永野ふれあい広場にて、中川粋いき倶楽部と中川地区一般参加者のグラウンドゴルフ大会が25名の参加で開催されました。永野地区の方々が草刈りや整備をしてくださり、本当にありがとうございます！！雨も降ることなく、暑くて汗だくにはなりましたが、時折吹く風が気持ちよい天候となりました。最初はなかなか普段のプレーができず悔しそうな声も聞こえてきましたが、後半からは調子に乗ってきてホールインワンもどんどん出て、楽しそうな笑い声がたくさん聞こえてきました！終了後は、昼食とお風呂(希望者のみ)で汗を流して帰ってきました。とても充実した一日となりました。

男性優勝	佐藤 吉光 さん
準優勝	佐藤 宏 さん
第3位	鏡 清明 さん
女性優勝	鏡 かつ さん
準優勝	鏡 洋子 さん
第3位	後藤 志づ江 さん

おめでとうございます！



中川地区ソフトボール大会

8月21日(日)第45回中川地区ソフトボール大会が開催されました。お天気もスポーツ日和となり、「甲石」「永野」の2チーム(18名)で熱戦が繰り広げられ、優勝は甲石チーム、準優勝は永野チームとなりました。今回もソフトボールの公式審判資格を持つ、小倉地区体育委員の伊藤勝宏さんより審判をしていただきました。参加して下さいの皆様、朝早くから準備して下さいの関係者の皆様、大変ありがとうございました。



甲石チーム



永野チーム

女性学級きらい

8月23日(火)第5回女性学級きらいでは、会員13名の参加で、「手づくりサロンキヲレ(天童市)」より木下先生にお越しいただき「ガラスフュージング体験教室」が行われました。ガラスフュージングとは、いろんな形のガラスを組み合わせ、高温で溶かし、アクセサリ等を手作りします。好きな色のガラスを組み合わせ、一人ひとり個性溢れる色使いの作品となりました。電気炉で溶かす過程は先生よりして頂きます。出来上がりが楽しみです♪



元クリーンセンター等解体撤去工事に係る工事説明会

8月9日(火)集会室にて、上山市市民生活課、建設課、委託業者が出席して、元クリーンセンター等解体撤去工事に係る説明会がありました。工事は段階的に令和6年3月までの工期で行われること、シート等で覆い周囲にアスベスト等が飛散しないように安全な工法で進める等の説明があり、質疑応答では、工事後の安全管理等の質問があり、市当局では、引き続き管理していく等の回答がありました。

市道上生居堀切線・市道永野開拓線整備促進期成同盟会総会開催

8月17日(水)、市道上生居堀切線・市道永野開拓線整備促進期成同盟会総会が28名の参加で開催され、令和3年度報告、4年度事業・収支予算計画(案)、役員選出等が行われました。総会の後、バス2台にて現地に行き、各地区の視察をしてきました。





行事予定



- 9/1(木) 市報・館報
 9/2(金) 三者会、森林開発公団総会
 中川地区会長会
 公民館運営協議会
 単発講座「マクラメ編み」
 9/6(火) 第6回そば打ち教室
 9/9(金) 第6回パソコンクラブ
 防犯協会中川支部 防犯診断(金谷)
 9/13(火) 第6回女性学級さりり
 9/14(水) 文化産業まつり代表者会議
 9/22(木) 第5回あいさ倶楽部
 9/25(日) 中川地区少年少女球技大会
 9/27(火) 第6回ウォーキング(職員不在時間帯あり)
 9/30(金) 市報・館報
 単発講座「マクラメ編み」

詩吟教室(火曜日) 9/6、13、20
 ピンポン愛好会(木曜日) 9/1、8、15、22、29
 スポーツ麻雀愛好会 9/3、24(土曜日)
 9/15(木曜日)
 グラウンドゴルフ愛好会(月曜日)
 9/5、12、20(火)、26



行事予定



- 10/4(火) 第7回そば打ち教室
 三者会、中川地区会長会
 公民館運営協議会
 10/7(金) 第7回パソコンクラブ
 福祉村文化産業まつり実行委員会
 10/14(金) 第7回女性学級さりり
 中川地区地域推進会議
 10/17(月) グラウンドゴルフ愛好会大会
 子ども会育成会三役会
 10/18(火) シニアヨガ体験教室
 10/21(金) 第7回ウォーキング(職員不在時間帯あり)
 市長と語る車座ミーティング
 10/25(火) 第6回あいさ倶楽部(職員不在時間帯あり)
 10/28(金) 単発講座「マクラメ編み」
 詩吟教室(火曜日) 10/4、11、18
 ピンポン愛好会(木曜日) 10/6、13、20、27
 スポーツ麻雀愛好会 10/1、15(土曜日)
 10/27(木曜日)
 グラウンドゴルフ愛好会(月曜日)
 10/3、11(火)、17(大会)、24、31

おしらせ

中川地区公民館トイレ バリアフリー化工事のお知らせ

9月上旬から12月上旬の約3か月間、中川地区公民館トイレのバリアフリー化工事予定の為、トイレの使用ができなくなります。その間は、中川地区農業者等トレーニングセンターのトイレを使用することになります。大変ご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。日程がわかり次第、掲示いたします。

中川地区敬老会中止

9/11(日)予定の、中川地区敬老会は中止となりました。9/13(火)~15(木)に対象の方にお祝い品をお届けする予定です。

中川地区 福祉村運動会中止

8月1日(月)に福祉村運動会代表者会議が行われ、各関係者とこまぐさの里施設の代表者に出席していただきました。村長司会のもと、一人ひとり意見が述べられ、10/9(日)福祉村運動会の中止が決定しました。理由としては、感染がピークに達していない現状、また、福祉施設としても、様々な行事に参加したい気持ちはあるが、接することの多い運動会では対策を十分にとることは大変難しいということで、全員が中止の意見となりました。大変残念ではありますが、安心して楽しめる運動会でなければ意味がありません。来年こそ開催できることを願いたいと思います。

運動会に関する会議の中止

- ・9月5日(月)全体会議
- ・9月16日(金)競技役員会



募集中!

詳しくは、小学校配布チラシ・地区
回覧チラシをご覧ください!

中川地区少年少女球技大会

「グラウンドゴルフ大会」

- 日 時 9月25日(日)午前9時00分~
 場 所 中川地区公民館 広場
 参加資格 中川地区の小学1年生~6年生
 参 加 料 無料
 申 込 み 9月10日(土)まで、各地区子ども会育成会会長へお申込み下さい。

体験スポーツ教室

「シニアヨガ」体験会 YOGA ME! 山形

- 日 時 10月18日(火)午前10時00分~
 場 所 中川地区公民館 集会室
 参加資格 中川地区民 12名程度
 参 加 料 無料
 申 込 み 9月27日(火)まで、公民館へお申し込み下さい。

おらほの中川〈地域の話題シリーズ 第百六十七弾〉

「昭和考、問わず語り（その19）」

〈通信手段〉

昭和初期の通信手段は、郵便、電信（電報）電話であった。いずれも通信省が運営する国営事業だった。

電話は、政府が電話の普及より鉄道の建設に力を入れていたため、ほぼ自費で開設しなければならず、電話があるのは、役所、会社、商店、工場など事業所が中心で、公衆電話は大都市の一部のみ、自宅に電話があるのは裕福な家庭に限られた。（古川隆久著「昭和史」ちくま新書）

令和四年二月二十六日、中川地区農業者等トレーニングセンターの管理人を勤めている佐藤伸太郎氏より、昭和二十五年四月現在の上山町の電話帳を拝読させていただいた。それによれば、町内の電話架設は、約四〇〇箇所、南村山郡町村会の一から始まり、警察署は九八、九九番、常備消防署は七四番であった。当中川地区の電話は、農協と蔵王鉱業所の二箇所しかなかった。

電話をするときは、電話交換手呼び出し、相手方をつないでもらう方式であった。筆者も昭和四十年代、警察署で当直勤務の際電話交換手をしたが、その時代にあっても、ダイヤル式ではなく、交換台で一つひとつ接続する方式だった。また遠方との通話は音量が低く聴き取りづらかった。まだまだ郵便全盛の時代だった。

〈当時の平均寿命〉

昭和初期の平均寿命は、栄養事情が悪く、また医療体制も整わなかったため短命であったとされる。

明治中期以降、昭和初年の当時に至るまで、人口が倍増したが、平均寿命は四十歳前半と低いままであった。医療水準や栄養水準の向上が人口増によろしく追いつく程度のもので、平均寿命を延ばすほどには至っていなかった。

平均寿命が低い最大の要因は、乳幼児死亡率が高かったことである。このころまでの日本の家族は、子どもをたくさん産むが、一方その多くが幼いうち

に亡くなった。成長しても、青少年層には当時治療法のない結核という恐ろしい伝染病があった。一方、大人になったあとでも八十歳を超えて長生きする人は珍しかった。

乳幼児向けの栄養たっぷりな粉ミルクや離乳食のレトルトパックなどは存在せず、成長しても、庶民の大部分は、一汁一菜のほぼ同じ簡素なメニューを毎日食べていた。肉や魚は、月に何回か、卵などはめったに食べられない。合成の添加物こそ少なかったが、カロリーはそこそこあっても栄養バランスがあまり良いとはいえない食事が普通だった。また、予防接種は少なく、まだ治療薬がない、あるいは治療法の確立していない病気も多かった。（古川隆久著「昭和史」ちくま新書）

〈庶民とエリートの格差〉

当時の日本は、前述したとおり、企業の生産性が未だ低く、農業にウエイトを置く経済構造だったため、所得は一部の高学歴のエリートに振り向かれる、格差の大きい社会であった。

（昭和初期）庶民の三分の二以上は、尋常小学校又は高等小学校卒で社会に出ており、大学卒業生は、社会全体から見れば極めて恵まれた超エリートであった。

農民の三割近くは地主から農地を借りる小作農、四割強が自作だけでは生活できず小作もする自作小作だった。地主は自作農の場合もあったが、広大な土地を多数の小作農に貸し、地代を株式投資に回す、いわゆる不在地主も存在感があった。庄内の本間家などは、広大な地域を支配した不在地主の代表例である。

工業労働者（工員）は、一部の熟練工を除けば日雇い制で、工場労働者と事務職員（職員）では出勤時の服装も違い、事務職員は現在のサラリーマンと同じくスーツとネクタイだったが、工業労働者は作業服で出勤するのが普通で、事務職員は月給制、工員は日給制が普通だった。事務職員だけの役所や会社でも、大卒以上のエリート組と、

甲石地区 高橋 正之

中学卒、あるいは専門学校や大学専門卒の非エリート組では、トイレや食堂も異なっていた。給与は、尋常小学校卒でなれる最下級の官吏の年俸が五百円だったのに対し、東京帝国大学法学部卒で文官高等試験合格者の初任給が年俸千円、本省局長級で年俸五千二百円と十倍以上の差があった。この時期の工業労働者の平均日給が一円弱、月額で二十五円、年俸換算で三百円、事務職員の平均月給が百四十円となっていた。事務職員はすでにポーターが出る様になっていた。年収は月給に十二を掛けるだけではないが、まだ所得税の源泉徴収という制度はないので天引きは少ないとすると、年俸換算で二千円程度であった。

写真は、昭和十一年当時の東京蒲田の電気関係工場主の一家。車は、昭和五年に発売されたタットサン第一号である。（古川隆久著「昭和史」ちくま新書より）

（次回は、男尊女卑の風潮、公娼制度などについて記述する予定です。）

